

東 経 連 情 報

2022年12月7日

マレーシアへの魚肉ソーセージの輸出について

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、当会）では、九州経済連合会が主導して立ち上げた九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社（以下、九直社）」と生産者を結び付け、東北・新潟製品の輸出に取り組んでいます。

今般、ハラール認証を取得した魚肉ソーセージ4種・22ケース（1ケース40パック／1パック3本）が九直社を通じてマレーシアに輸出され、日系大手小売りのイオンマレーシアの2店舗で販売されましたのでお知らせいたします。

本件の魚肉ソーセージは、イオンマレーシアが11月に開催した「オリエンタルフェア」の商品として輸出されたもので、ハラール認証と食味が高く評価され昨年に続き2回目の輸出となりました。

本ソーセージは、株式会社泰興商事の専用工場「サンリクフーズ」で製造され、イスラム教徒の方々も安心して購入できるようハラール認証を受けたものです。

泰興商事の町田健司社長は、「円安を背景に海外からの引き合いが増えており、一方で近年ハラールフードの国内需要も高まっている。今後、東北発の安全安心な日本製ハラール商品の国内外販路を更に拡大していきたい」と話しています。

本件は、株式会社三井住友銀行の協力をいただき、当会の会員企業である株式会社阿部長商店及び同社グループ企業の株式会社泰興商事を、当会が九直社へ仲介したことで、2021年に実現した魚肉ソーセージ輸出の継続取引にあたるものです。

当会では引き続き、関係機関との連携により、魅力ある東北・新潟製品の輸出拡大に取り組み、当会のビジョン「わきたつ東北」実現の加速化につなげてまいります。

以 上



写真：＜イオンマレーシア様での陳列の様子＞

【本件担当】

（一社）東北経済連合会 食・観光グループ 大竹

電話：022-397-7063

(添付資料)

1 案件の概要

品目	ハラール対応 魚肉ソーセージ (商品名:三陸フィッシュソーセージ)
ロット	22 ケース (1 ケース 40 パック/1 パック 3 本入り) <種類> ブラックペッパー、チリペッパー、バジル&チーズ、アミエビ
出荷者	株式会社 泰興商事
輸出商社	九州農水産物直販 株式会社
輸出先	イオンマレーシア

2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96 ケース (1 ケース 5~6 玉)
	モモ	香港	2022年8月~9月	合計 384 ケース (1 ケース 5~6 玉)
	鶏卵	香港	2022年3月	608 ケース (1 ケース 15 パック)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300 ケース (1 ケース 10kg)
	サツマイモ	香港	2021年4月	300 ケース (1 ケース 10kg)
	サツマイモ	香港	2021年11月~ 2022年3月	約 120 トン (1 ケース 10kg 約 12,000 ケース)
	サツマイモ	香港	2022年11月~ 2023年3月	約 100 トン (1 ケース 10kg 約 10,000 ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22 ケース (1 ケース 40 パック)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2022年9月	22 ケース (1 ケース 40 パック)
	キャベツ	香港	2021年11月	630 ケース (1 ケース 8 玉)
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50 ケース (1 ケース 20 袋)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300 ケース (1 ケース 5 玉)
	メロン	香港	2021年7月	48 ケース (1 ケース 5 玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計 100 ケース (1 ケース 4 玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計 200 ケース (1 ケース 5~6 玉)

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

【輸出事業の位置付け】

・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。

ポストコロナ・5つの提言
— 東北が地方分散のトップランナーとなるために —

■ポストコロナにおいて、東北が多様な暮らし方・働き方が可能な「地方分散のトップランナー」となるために、以下の5つを提言する。

1. 「デュアルライフ東北」の実現
2. デジタル化、その先の DX の推進
3. 地域産業の自立と成長
4. 農産逸品の輸出拡大
5. 潤う・潤す観光

地方分散のトップランナー

「わきたつ東北」へ

4.農産逸品の輸出拡大

- 農業団体、商社等が連携し、農産逸品（和牛、果物、米、酒等）の発掘・開発を通じた輸出拡大
- 集約化・スマート化による生産性向上 等

【参考】国の農林水産物・食品 輸出目標

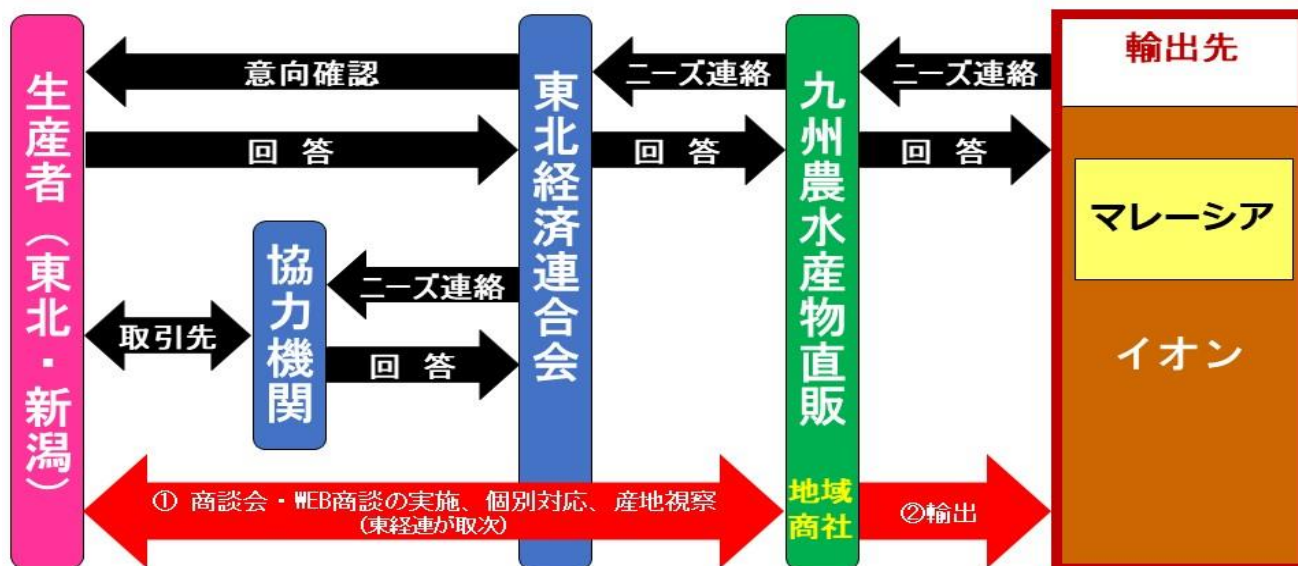
現状：2021年 1兆円 2,385億

目標：2025年 2兆円

2030年 5兆円

【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考 1】九州農水産物直販株式会社

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA 宮崎経済連、麻生、JR 九州、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

【参考 2】株式会社泰興商事 サンリクフーズ

名 称	株式会社泰興商事 サンリクフーズ
代 表 者	阿部 泰浩
所 在 地	宮城県気仙沼市赤岩港 168-6
竣 工	2018年3月
備 考	サンリクフーズは、株式会社阿部長商店のグループ企業である株式会社泰興商事の魚肉ソーセージ専用工場。 食品製造に関わる衛生管理認証として、HALAL 認証に加え FDA-HACCP 及び EU-HACCP、FSSC22000 などを取得・保有。

【参考 3】イオンマレーシア

会 社 名	イオンマレーシア（本社：マレーシア）
主 要 株 主	イオン株式会社
創 業	1984年
年 商	約 1,200 億円
店 舗 数	129 店舗（2022年6月現在）
うち GMS・SM 店舗	63 店舗
業 種	小売業

以 上